

1 単元名 郷土の食について学ぼう

2 単元の目標

生徒自らが食に対する関心を高め、郷土の食について追究していく中から、郷土の食文化を知り、地域の食材や郷土料理のよさ、食を通じた地域のつながりを学びとり、自己の食生活を見直すとともに、家庭や地域の人たちにもそのよさを紹介することができる。

3 本 時(3.4/12時)

(1) 本時の目標

- 地域の食材である「さんま」や郷土料理である「つみれ汁」に関心を持ち、進んで調理しようとする。
- 郷土料理の調理実習を通して郷土の食に対する関心を高め、自分の追究する課題をみつけようとする。
- 調理実習や栄養教諭等の話から、地域の食材や料理のよさに気づき、今までの生活を見直し、望ましい食習慣や食生活を生活の中に生かそうとすることができる。

〈食育の視点〉

- さんまのつみれ汁の作り方や準備・片付けに関わることで「食べる力」を育てる。
- 食べるためには、多くの人や自然の恵の関わりを知ることで「感謝の心」を育てる。
- いわきの食材を知ることで、「郷土愛」を育てる。

(2) 展開

過程	時間	主な学習活動	教師の支援(T1)	教師の支援(T2)	備考
気づく	5分	1 本時のめあてをつかむ。 (1) 第一次で学習した食の大切さをふり返る。 (2) めあてをつかむ。 郷土料理を作ることを通して、郷土の食のよさを知ろう	○ 食育講座内容をふり返らせる。 ○ 本時の体験内容を確認させる。	○ 生徒の様子をとらえる。	
活動する	10分 75分	2 郷土料理の説明を聞く。 3 郷土料理の実習をする。 (1) 実習内容の説明を聞く 「ごはん、さんまつみれ汁、漬物」 (2) さんまのおろし方を学習する。 (3) 3班に分かれて調理実習をする。 (4) 試食をする。 (5) 片付けをする。	○ 時間配分や仕上げ時間について確認する。 ○ 調理実習の補助指導をする。 ○ 食事のあいさつをして試食する	○ 郷土料理の説明をする。 ○ 実習内容を説明する。 ○ 小名浜港で水揚げされたさんまを3枚におろす。(デモンストレーション)身にする。	計画表 日程表 エプロン マスク バンダナ
振り返る	10分	4 まとめる。 ・今日の体験学習をふり返る。 ・気付いたことや感じたことを発表する。 ・今後、自分が「郷土の食」について調べたいことをカードに記入する。	○ 実習をふり返らせ、今後の食生活の充実に役立てるようにさせる	○ 郷土のよさを伝える。	

(3) 評価

- ・ 地域の食材や郷土料理に関心を持ち、進んで料理をすることができたか。
- ・ 郷土の食について自分の追究する課題をみつけようとすることができたか。
- ・ 地域の食材や料理のよさに気づき、今までの生活を見直し、望ましい食習慣や食生活を生活の中に生かそうとすることができたか。

